



2026 SUPER FORMULA RACE REPORT

MOBILITY RESORT **MOTEGI**

Rd.1 - 2

4.3[fri] - 5[sun]

[place] モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

[weather] **sat** 雨 **sat** 曇り

[spectators] 41,500人 (**sat** 17,500人 **sat** 24,000人)

Rd.1-2 **MOBILITY RESORT MOTEGI** APR 3 - 5

Rd.3 **AUTOPOLIS** APR 25 - 26

Rd.4-5 **SUZUKA CIRCUIT** MAY 22 - 24

Rd.6-7 **FUJI SPEEDWAY** JUL 17 - 19

Rd.8 **Sportsland SUGO** AUG 8 - 9

Rd.9-10 **FUJI SPEEDWAY** OCT 9 - 11

Rd.11-12 **SUZUKA CIRCUIT** NOV 20 - 22

王座奪還を目指す2026シーズンが開幕。
Round1ではサッシャ・フェネストラズが6位、坪井翔も入賞。
Round2は2台とも悔しさが残る結果に終わる。



2026年全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round1・2「MOTEGI 2&4 RACE」が4月4日(土)・5日(日)にモビリティリゾートもてぎで行われた。王座奪還を目指す VANTELIN TEAM TOM'S は、今年も坪井翔とサッシャ・フェネストラズの体制で参戦する。Round1は大雨により、途中に赤旗中断を挟む波乱の展開となったが、フェネストラズが6位、坪井が9位に入り2台ともポイントを獲得。Round2ではフェネストラズが上位でレースを進めるもピットストップでのミスでトラブルが発生し、悔しいリタイヤとなった。坪井は14位でレースを終えた。

RESULTS



Round 1			
予選	11位	決勝	9位
Round 2			
予選	12位	決勝	14位
Rd. 1	Rd. 2	QUALIFYING 1	
P5(B Gr)	P4(A Gr)	P5(B Gr)	P4(A Gr)
1'30.675	1'31.799	1'30.675	1'31.799
QUALIFYING 2		RACE	
P11/1'30.378	P12/1'31.664	P9/2'00.542	P14/1'32.295

36 坪井 翔 | SHO TSUBOI
VANTELIN TEAM TOM'S

RESULTS



Round 1			
予選	7位	決勝	6位
Round 2			
予選	13位	決勝	DNF
Rd. 1	Rd. 2	QUALIFYING 1	
P5(A Gr)	P7(B Gr)	P5(A Gr)	P7(B Gr)
1'31.160	1'31.468	1'31.160	1'31.468
QUALIFYING 2		RACE	
P7/1'30.198	-	P6/1'59.619	DNF/1'32.689

37 サッシャ・フェネストラズ | SACHA FENESTRAZ
VANTELIN TEAM TOM'S

Rd.1

QUALIFYING

天候:曇り | 気温:13℃ | 路面温度:17℃

RACE

天候:雨 | 気温:13℃ | 路面温度:15℃

開幕の舞台となったモビリティリゾートもてぎは、シーズンオフ中に路面の舗装が全面的に新しくなり、金曜日に2回行われたフリー走行で状態を確認しながら、マシンのセットアップを進めていった。

4日(土)午前9時30分から始まった公式予選では、昨年後半から予選のペースが上がっているフェネストラズがAグループで5番手通過を果たすと、Q2ではトップから0.3秒差のところにつけ7番手に入った。一方の坪井はBグループを5番手で通過したが、Q2ではコンディションに合わせる事ができず、11番手から挽回を目指す。

しかし、決勝レースは雨模様となりセーフティカー先導でスタートしたが、雨量が多いことから3周目に赤旗が出され、約1時間にわたって中断。再開後もアクシデントが続出し、セーフティカーが何度も導入され、23周で終了。フェネストラズは6位、坪井は9位に入り、それぞれポイントを獲得した。



Rd.2

QUALIFYING

天候:曇り | 気温:20℃ | 路面温度:31℃

RACE

天候:曇り | 気温:22℃ | 路面温度:28℃

前日から降り続いた雨は止んだが、コースのところどころに水溜りが残っている状態で始まったRound2の予選。Round1では予選で好走をみせたフェネストラズだったが、今回のQ1Bグループではビクトリーコーナーでミスがありタイムロス。その影響で、わずか0.007秒差でQ2進出を逃し、グループ7番手に終わった。坪井はQ1Aグループを4番手で通過したが、Q2ではライバルを上回るタイムを記録することができず、12番手に終わった。

37周で争われた決勝では、レース中盤の18周目にタイヤ交換をする戦略をとった坪井だが、全体的にペースが上がらず、中団グループのなかでチャンスを見出せないまま14位でフィニッシュ。フェネストラズは後半にピットストップをする作戦で順調に周回を重ねていたが、タイヤ交換時に右リヤタイヤが十分に固定されておらず大きくタイムロス。その際にブレーキ周りにもダメージが及び、最終的に戦線離脱という悔しい結果に終わった。





Driver
坪井 翔

こんな週末を過ごしたのは久々で、率直に言うと悲惨でした。特にRound2の予選に関しては厳しい内容だったので、原因を追求しないといけないと思います。もてぎに対しては元々苦手意識があり、今回舗装が新しくなったことで状況が良くなればと思いましたが、その予想とは逆の展開になりました。

予選も含めてベースを底上げしないと、戦い続けることは厳しいと感じているので、しっかりとこの2レースを振り返って、何が良くて何がダメだったのか。良かれと思ってやってきたことについても、一度整理する必要はあると思います。



Driver
サッシャ・フェネストラズ

Round1の予選は、特別良いという内容ではなかったけど手応えを感じることができました。その流れでRound2も良いポジションを狙ったけど、前日の雨でセカンドアンダーブリッジ付近が濡れていた影響で、ビクトリーコーナーでミスしました。順当にいけばトップ5くらいには行けたと思います。決勝に関しては非常に良いペースで走っていましたし、後半にピットストップする戦略もうまくいきそうでしたが、ピットストップでのミスがなければ、4位くらいには入っていた可能性があります。ピットストップでの問題は残念でしたが、パフォーマンスは発揮できたと思います。



Team Principal
館 信秀

Round1は不完全燃焼に終わりましたが、ひとまず2台ともポイントを獲得できたのは良かったです。ただ、Round2に関しては我々らしくないレースになり、非常に悔しいです。サッシャは良い走りをしていたので、ちゃんとピットストップが決まっていれば4位も見えていたので、本当に惜しかったです。坪井もペースが足りず苦しい内容でした。『勝って奢らず、負けて腐らず』をモットーにやっていますが、とにかく悔しいです。次戦のオートポリスは昨年勝っているコースなので、雪辱を果たしたいと思います。

次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。



バンテリン

PONOS

CCM
HONG KONG

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

TGR-D

YOKOHAMA

Yc
Yichiu Group

AZAPA

iii
Happiness in Your Life
広島トヨペット

etk
etk.biz

細井工業

OKANO
Express

S&D
TAMA GROUP

EDIFICE
CASIO

WAKUDA
WAKUDA VALLEY
COLTAR

豊通テック

BRIDE

ENKEI

ThreeBond

MOTUL

HRX

KRS